

1 学年だより

夢の宅配便

1 年学年主任

水野 喜代治

自分ができること！みんなができること！

3 年生とのお別れに向けて、各クラスで担当を決めて心を込めて 3 年生の教室に貼るメッセージカードやお別れ会に放映する 1 分間のクラスのビデオを作成してくれた人、お疲れさまでした。このように何かをするときは、必ずだれかがみんなのために動いてくれる人が必要です。みんなのために働くということは、自分の時間をみんなのために使うことを意味します。簡単なことでそれはなかなかできないことです。

昨日の放課後も、新入生のために、城山中学校の紹介をする掲示物を作成するために一生懸命に活動している人たちがいました。見ていて、とても気持ちがいいです。みんなのために、快く引き受けて動いている人を見るととてもさわやかな気持ちになります。このような人たちの気持ちが少しずつ重なって集団が動いていくのだと思います。また、純粹に、1 年生を「喜ばしてあげたい」。3 年生に「ありがとう」という気持ちを届けたいという気持ちがそこにあるのが伝わって優しいなと思います。

世の中には徳という言葉があります。損得でなく、人を喜ばしたい、人のために何かしてあげたい、寂しい気持ちに寄り添ってあげたい、そんな気持ちを持っている人を徳があるといます。徳のある行動に触れると自然と「ありがとう」という言葉を返したくなります。

1 年間、頑張ってきた仲間の絆に「ありがとう」という気持ちで、みんなで合唱をつくれたら素敵だなと思います。各クラスの解散をひかえて、みんなで何か形になるものを作れたら素敵だなと思います。今、音楽の授業で歌っている「大切なもの」という合唱曲をみんなで合わせてみませんか？そうすれば、この学年のみんなの財産になると思います。「協力できる学年」という目標で頑張ってきた 1 年間、最後に協力をして「大切なもの」を完成させましょう。そして、いろいろな場面で絆を確認したいときにこの歌を歌えたら素敵だと思います。1 年の解散の時に、先生方と別れの時に、転入生など新しい仲間が増えたとき、卒業の時、そして同窓会の時などに、この歌を大切に歌いましょう。そんな財産になると思います。みんなで、学年の歌に仕上げてみてください。「自分ができること」を意識して、「みんなができること」に挑戦してみましょう！